

1 研究概要

(1) 研究題目

平成29年度 宍粟市地域経済循環調査

(2) 研究目的

人口減少社会に直面している本市では、単なる人口規模の縮小だけでなく、少子高齢化により生産年齢人口が減少し、地域経済の衰退が懸念される。このため、地域社会・地域経済を担う若者の定住促進は最重要課題であり、農林業や商工業、観光業などの活性化、異業種連携による雇用の創出に向けた積極的な産業振興施策を講じることが必要とされている。

こうした現状を踏まえ、固有資源等の地域特性や強みを活かし、地域内経済の好循環を実現するために、本市における経済循環調査を実施し、経済・産業構造の実態や地域資源と地域産業との関係等を精緻に分析し、本市の産業や地域経済を振興するための具体策を導き出すことを目的とする。

(3) 研究内容

業務の目的を達成するために、下記の業務内容を実施した。

① 消費者動向アンケート調査の実施

消費者向けアンケートの設計、調査票作成及び調査（配布、回収、データ入力、集計、分析）を行った。

② 事業所アンケート及びヒアリング調査の企画・設計

事業所向けアンケートの設計、調査票作成及び調査（配布、回収、データ入力、集計、分析）を行った。また、一部事業所への追加依頼・督促等を行った。

③ 地域経済構造分析の実施

消費者アンケート及び宍粟市商工会とともに実施した事業者アンケートの結果を踏まえて産業関連表を作成し、これと既存統計データ等を活用した地域経済構造分析や政策シミュレーション等を実施した。

④ 産業振興方策等の検討

地域経済構造分析を踏まえ、他都市での先行事例等を参考に、宍粟市の産業振興のあり方や方向性について検討、提案した。

⑤ 報告書の作成

⑥ 講習会等の実施

産業関連表及びRESASの活用、経済波及効果の検証等について、市関係部署、市内企業の参加する講習会を開催した。

⑦ その他独自の提案事項

上記を検討・推進するため、宍粟市地域経済循環調査研究会を開催・運営した。

(4) 研究分担

① 研究代表者

役職・氏名 兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 特任教授 福島 徹

宍粟市産業部 部長 名畑浩一

② 研究分担

区分	氏名	所属部局・職名	本研究における主担当
甲	※福島 徹	兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 特任教授	統括
	加藤 恵正	兵庫県立大学減災復興政策研究科 教授	政策提言
	中嶋 一憲	兵庫県立大学環境人間学部社会環境部門 准教授	取組提案
	芦谷 恒憲	兵庫県企画県民部統計課・ビジョン課 参事	分析・シミュレーション
	小沢 康英	神戸女子大学文学部神戸国際教養学科 准教授	取組提案
	上田 澄廣	兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 特任教授	調査
	北川 洋一	兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 研究企画CD	調査
乙	※名畑 浩一	宍粟市産業部 部長	統括
	藤原慎一郎	宍粟市産業部 商工観光課 係長	調査・調整

(5) 研究スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート調査実施		←	→									
地域経済構造の分析		←	→									
産業振興施策の検討										←	→	
報告書作成											←	→

(6) 研究実施場所

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構及び宍粟市全域